



特定非営利活動法人

おもしろ科学たんけん工房

2008年10月1日発行

たんけん通信 第25号

青少年のための

科学の祭典

神奈川大会

昨年の30%増の入場者でにぎわいました。

おもしろ科学たんけん工房も簡単工作
「アルソミトラの種の模型を作って飛ばそう」と、
4種の展示を出品し、たくさんの親子連れの
みなさんに喜ばれました。

展示: 転がれ進めジェットコースター、
風に向かって進むウインドカー
4連のヘロンの噴水、ヒコーキいろいろ

科学体験活動推進スタッフ(インストラクター)

今年度第2期研修が始まりました。

定員30名の募集に対し、16名の応募がありました
が、内2名は、実習の日程が合わないなどで辞退があり、
実習は14名でスタートしました。

2008年度 第2期

養成研修がスタート

実習オリエンテーション: 9月6日(土)
はまぎんこども宇宙科学館 1F 会議室で
実習は 9月下旬から12月下旬までの予定。

横浜市教育委員会後援

(財)横浜市青少年育成協会との共催



左上: 4連ヘロンの噴水 右上: アルソミトラの種 モケイ作り

左下: 風に向かって進むウインドカー 右下: 会場 風景



平成20年8月10日(日)10:00~16:00 おもしろ実験ショー: 科学工作など 会場: 紅葉坂 県立青少年センター

おもしろ科学体験塾 2008年度 12月～3月予定表

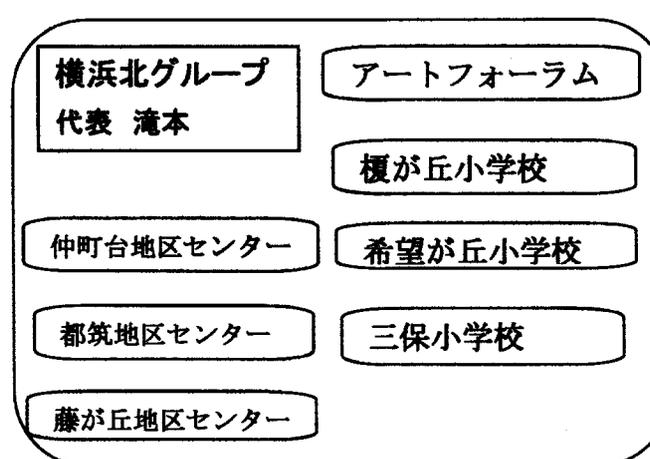
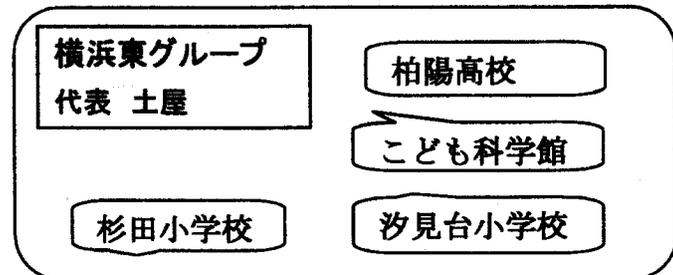
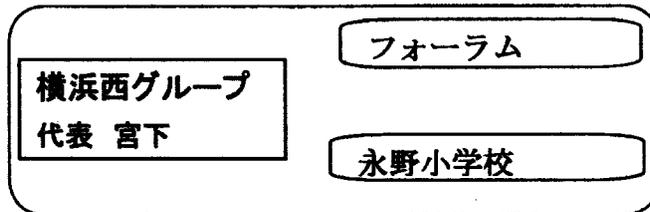
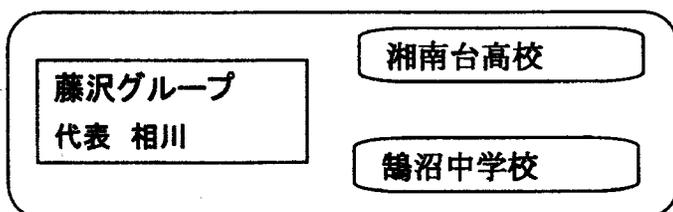
予定は変更される場合もありますので、参加の申込は募集チラシや、ホームページの案内を見て行ってください

実施日	開催場所	テーマ/タイトル	実施日	開催場所	テーマ/タイトル
12/6	汐見台小学校	磁石と電気 モーターを作ろう	2/7	汐見台小学校	にじ色の涙とかくれた色さがし
12/13	鶴沼中学校	磁石と電気 モーターを作ろう	2/7	榎が丘小学校	七色の炎のキャンドル作り
12/13	柏陽高校	七色の炎のキャンドル作り	2/14	鶴沼中学校	光のふしぎ/マルチポ
12/13	榎が丘小学校	信号機を作って回路の勉強	2/14	柏陽高校	ミニホバークラフトを作ろう
12/20	永野小学校	風に向かって走るウィンドカー	2/21	永野小学校	(仮称) デンプンの化学
12/20	こども科学館	水をきれいに	2/21	こども科学館	天秤ばかりを作ろう
12/20	アートフォーラム	空気の重さ/圧力のふしぎ	2/21	三保小学校	ゲジゲジUFOを作ろう
12/27	湘南台高校	ロケット・発射台を作ろう	2/28	湘南台高校	ブザーを作ってモルス信号
12/27	フォーラム	風に向かって走るウィンドカー	2/28	フォーラム	(仮称) デンプンの化学
1/10	杉田小学校	静電気のふしぎ大実験	3/7	杉田小学校	ゲジゲジUFOを作ってみよう
1/17	鶴沼中学校	信号機を作って回路の勉強	3/7	アートフォーラム	にじ色の涙とかくれた色さがし
1/17	柏陽高校	風に向かって走るウィンドカー	3/14	鶴沼中学校	ICラジオを作ろう
1/24	湘南台高校	ゴム動力ヘリコプター	3/14	こども科学館	ソーラーカー(蓄電型)
1/24	永野小学校	静電気のふしぎ大実験	3/14	柏陽高校	気体の力B
1/24	こども科学館	風向計を作ろう	3/21	永野小学校	ブザーを作ってモルス信号
1/31	フォーラム	静電気のふしぎ大実験	3/28	湘南台高校	ふしぎなヘロンの噴水
1/31	希望が丘小学校	磁石と電気 モーターを作ろう	3/28	フォーラム	ブザーを作ってモルス信号

註1) アートフォーラム=アートフォーラムあざみ野
(男女共同参画センター横浜北)

註2) フォーラム=男女共同参画センター横浜
こども科学館=はまぎんこども宇宙科学館

おもしろ科学たんけん工房 4Gpと 科学塾開催会場の関係



おもしろ科学たんけん工房のホームページでは
毎月の科学塾開催について、最新のご案内を掲載して
います。是非ご参照ください。

<http://park2.wakwak.com/~tanken/>

おもしろ科学たんけん工房 藤沢地区グループ便り No. 6

特別行事：学校が夏休みの8月9日に「セミの羽化を観察しよう2008」というタイトルで工房としては初めての夜間観察行事を開催しました。自然保護協会観察指導員の資格を持つ宮地会員の事前レクチャーを受けた後、セミの幼虫が木によじ登り数時間かけて殻から抜け出し透明な羽根を伸ばして成虫になる迄の神秘的な光景を観察しました(写真1)。またその時の様子をビデオに記録したDVDを後日配布しました。(会場：日本大学湘南キャンパス構内 参加者：13家族26名)



8月1日には湘南台公民館の急な依頼に応じて公民館主催のセミの羽化観察会を代行し、柴田会員他の指導と付き添いで26人の子ども達が湘南台公園の林で日大の時と同じような羽化観察をしました(写真3)。



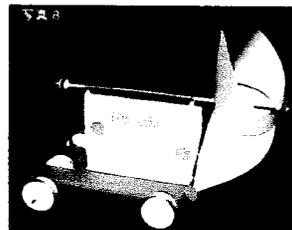
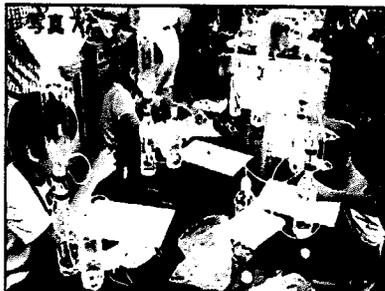
7月23日には、飛行機教室の成果を競う藤沢市立中学校科学部顧問会主催の「ゴム動力飛行体大会」が辻堂海浜公園で開催され、教室に参加した藤が岡、六会、湘洋の各校が総合点で1位から3位まで占めました。写真2は全員が一斉に飛ばして1番長く飛んだ飛行機に賞が出る「飛んだで賞」の光景です。



8月10日の「青少年のための科学の祭典」には、工房で工作したことがある模型飛行機の展示と、風に乗って遠くへ飛ぶ種「アルソミトラ」を模した飛行体(写真4)の工作を畑尾会員の指導で提供、100組用意した部品が全部無くなる盛況ぶりでした(写真5)。

定例体験塾：

紙枠に銅線を巻いたコイルと能動素子1個を使った「ICラジオ」(6月28日鶴沼一写真6)、低いところの水が瓶の中に吹き上がる不思議な「ヘロンの噴水」(7月12日湘南台一写真7)、風の中で風車が回ると予想に反して風上に進む「風力車」(7月28日湘南台一写真8)が行われました。(括弧内は会場名)



テレビなどで見たり聞いたりしただけで、解った事になるとは限りません。

学年が低いほど観察や体験から物事を理解すると言われています。私たちの体験塾も理科の仕組や楽しさを子ども達に解って貰えるよう工夫しましょう。

取材と記事制作：藤沢地区グループ：郷、品田

横浜東地区グループ便り

栄区民文化センター「リリス」で、

今年は8月10日に開催「リリスの大冒険：理科工作」

「リリス」は本郷台駅に隣接し、今年は開館10周年と節目にあたる。

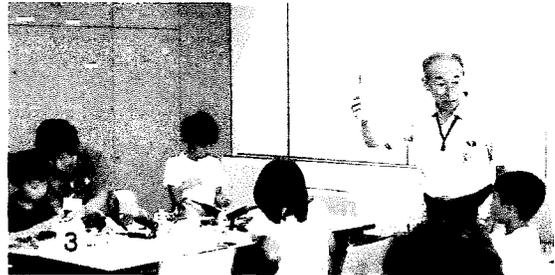
3月18日一通のメールが私のPCに飛び込んだ。「リリス」の芝井さんから「リリスの大冒険」への参加依頼だった。昨年、協力したのが縁で。せっかくの機会と前向きに、協力いただける工房スタッフ、出し物などを検討、リリス担当者吹田さんと数回の打合せをし開催にこぎつけた。今年の出し物は3種、くるくるレインボー、ミニホバークラフト、トコトコロボットを用意。どれもおもちゃとしては魅力十分。出来るだけ大勢の子どもに楽しんでもらおうと、各テーマ20分サイクルで6回くりかえしたが、始まったとにかくスタッフは忙しい。のどを潤す暇もない。今年も昨年と同様に100名超の参加者で賑わった。参加者の中には3歳児もいたがママや工房メンバーに手伝ってもらって、でも真剣な目が印象深い。体験塾でもそうだが、「出来たー」「回ったー」「歩いたー」「走ったー」「ありがとうございました」という子供達の言葉を聞くと、準備やらで苦労したことなどいっぺんに吹っ飛んでしまい、私の身体は再充電される。

最後に、協力いただいたスタッフの方々、我々にこのような活動の場を与えてくださった「リリス」の田中館長、吹田さん、芝井さんに、
感謝。(小林記)

夏休みの出前塾・・・今年は4ヶ所で

昨年の横須賀市浦賀、田浦のコミュニティセンターでの出前塾に引き続き今年も両所で、また今年新たに港南区上大岡小学校、金沢区六浦地区センターで出前塾を行ない、合計113人の児童が参加しました。皆様のご協力に感謝します。(土屋記)

- ・7/31：上大岡小 空気の力おもしろ実験と工作
- ・8/4：浦賀3校 転がれ進めジェットコースター
- ・8/6：田浦3校 飛べ！ヘリコプター
- ・8/24：六浦地区セ ゲジゲジUFOの工作



主任に初挑戦！ 佐藤孝一さん



初めての半田付け、うまくできたかな？

08.8.24 六浦地区センター ゲジゲジUFO



セカンドライフ第1ステージを振り返って

08.8.6 植木俊二

リタイヤ後の人生を楽しく、有意義に過ごしたいという想いを実現するため、セカンドライフのモットーに「学び感動し共感すること」を掲げました。まずは多くの人と係り合うことです。たんけん工房に参加したのもそんな動機でした。コーラスも始めました。声を出すのはなんと快いことか！仲間と雑談するのもまた楽しいものです。発表会やコンサートは身近な目標となり、舞台に立つことは程よい緊張感をもたらしてくれます。日々の練習はいつのまにか日常生活の軸になっていました。発表の場もコミュニティーハウス、公会堂、鎌倉芸術館、県立音楽堂、みなとみらいと広がります。そしてついにドイツで、「第九」を歌うという貴重な経験をし、最高の思い出を作ることができました。ここ数年は「栄第九コンサート」の事務局として区の生涯学習支援活動に携わり、今、1月のみなとみらい公演に向けて200人の仲間と練習を始めたところです。

今年も多くの感動と共感を与えてくれそうです。音楽の楽しみは舞台に立つことだけではありません。老人ホームや地域ケアプラザの慰問活動もします。最近はおじさんバンドを結成し、私はフルートを担当。「生伴奏で歌が歌える！」と皆さん方に喜んでいただいています。合間をぬって小学校で算数の授業のお手伝いもしています。先生方の苦勞がよく分かるのでお役に立ちたいという思いに駆られます。とてもやりがいがあり、今一番楽しいことかもしれませぬ。30年余の企業生活で得たことは沢山ありますが、仕事では得られなかったものを学んでいます。ボランティア活動はときに“つらさ”を感じます。しかし、その“つらさ”は人から攻められるというのではなく、自分自身を問うことによる“つらさ”です。でもそれを解決してこそ“やりがい”を感じます。夢は努力すればかなうことを実感しました。楽をすればそれなりに終わってしまします。まだまだ夢を追い続けようと思っています。

横浜北地区グループ便り



はじめまして

横浜北地区もこの号から“グループ便り”に仲間入りすることになりました。文字どおり横浜の北部に広がる鶴見/港北/都筑/青葉/神奈川/緑/保土ヶ谷/旭/瀬谷区が活動の、またメンバーが居住する地域です。また、中区/西区や川崎市/厚木市/町田市/埼玉県入間からも活動メンバーが加わっています。総勢44名(正会員29名、準会員12名、賛助会員2名、その他1名)で、男女の比率は30:14です。地域は広いですが、鉄道が縦横に走っていて全体としての機能的な活動を助けてくれています。全体としての打合せ等は、横浜線中山駅に近い緑区市民活動センターを利用する機会が多いですが、科学塾等の活動の拠点は、子どもさん達が集まり易いように各鉄道沿線が中心です。本号では、田園都市線沿線と相鉄線沿線を紹介します。(古村)

相鉄沿線では

相鉄沿線グループは、男性6名、女性3名の体制です。まだ小所帯ですが、他グループの応援を得て活動を開始したところです。これまで、希望ヶ丘小学校で3回、旭区市民活動支援センター(みなくる)で1回の科学塾を開催してきました。また、みなくるのイベントに参加し工房のPRを実施しています。



希望ヶ丘小学校での科学塾は、学校の要望で、ほぼ出前塾のような形になっていましたが、8月2日に行われた第3回目は初めて同校以外の学校にもチラシを配布しました。その結果旭区内11校、青葉区1校から合計35名の応募があり30名を受け入れました、保護者16名を含めると60名を超える大人数でしたが、校長他2名の先生方にご協力を頂き無事終了しました。今年度残り2回も同様の方法で実施する予定です。ただし、同校での開催は、セキュリティー管理ため工房だけで実施する事は出来ず、先生方の休日勤務が前提条件となります。そのため日程変更は避けられませんが、今後さらさら良好な関係を構築する事でリスク軽減を図りたいと思います。(鈴木)

☞(写真は「ぼんぼん蒸気船」の試運転を楽しむ希望ヶ丘小会場の参加者)

田園都市線沿線では

榎が丘小学校でおもしろ科学体験塾を開催!

7月26日(土) 午前に青葉区榎が丘小学校家庭科室で、榎が丘小学校及び同校PTA運営委員会の主催で、榎が丘小学校PTA事業の一環として「おもしろ科学体験塾」が開かれ25名の児童が参加しました(男子10名、女子15名)。榎が丘小学校は、子どもたちの科学体験塾に大越校長先生はじめPTAの方々非常に熱心で、これまでPTAフォーラムなどで開かれる我々の体験塾に同校の多くの児童が参加してきました。同校のはまっ子ふれあいクラブのチーフを務めている渡辺智子が、工房のメンバーであることから、学校側と一緒に、同小学校及び周辺の小学校からの児童が参加できる、「おもしろ科学体験塾」の企画を練った結果今回の企画が実現したものです。当日は「虹色の涙と色探し」が主任石井、PTA西垣で実施されました。12月から本格的にPTAの保護者の方も塾の協力者として参加し、同校でおもしろ科学体験塾が開かれる予定です。横浜北グループでは会場を提供して下さる小学校を今後も積極的に開拓します。



PTAフォーラム 2008 に参加要請

10月26日(日)にPTAフォーラム開館3周年記念行事としてPTAフォーラムが開催されます。「市民NPOがつくる男女共同参画事業」市民企画講座・ワークショップを実施中の団体に参加の要請がありました。現在実施の計画を練っています。(石井)

北GRの皆さんと共に 月日の流れは早い

北GRの初顔見世は05年の秋10月末(2日間)あざみ野アートフォーラム創立記念オープニングが開かれ参加した時で、早、3年立ちました!! 北GRの誕生はアートフォーラムの建設と同時進行で、05年春申請などに始まり、北GRメンバーも片手程で、今は40人を超したが、当時オープニングには北GR中心に地元ポラGRや川崎のGRなどの応援を得ての話があり、何度か打合せた、結局都合が合わず北独自に進めた。PR面で地元放送局、地元紙がどこからか現れて、勇気付けられた。当時アートフォーラムや我が工房はあざみ野はおろか田園都市沿線の公共機関、町学校にも殆ど知られてない世界であった。ただアートフォーラム職員に戸塚フォーラムから転勤者がいて北GR活動の唯一の協力者となって頂き大変助かった。北メンバーの打合せもファミレスのドリンクバーを何度も利用した。その後横浜西口 県民センターにて今は横浜線 中山 緑支援センタ ほかで開催する事が出来るようになった。発足時から常に皆と話してきた活動の根拠は“ムリ、ムダ”をしない“楽しい活動を!” 声をかけ顔を合わせ手から手にあった。行うのは我々である。その時々ムリなく集まれる人塾テーマに興味を持つ人自発的で押し付けなし焦らず実力相応で楽しく行くでした。ど素人が科学的?発想的?工作を科学塾に人知れず練習し演出をする。そんな塾を見たあの生徒の純粋なつづらな瞳が忘れられない。進んで学校でやりたいが安全や時間、PTAの目が障害でと話してくれた先生、こんな科学塾を多くと言ってくれる保護者。人それぞれに違う現状と価値観これも時と共に変わる。(滝本)



齋藤 光紀 さん

(横浜東 Gp)

A1: 一応、神田で生まれ育った「江戸っ子・神田っ子」です。20代後半までは秋葉原（最近はいよいよ怖い町になりました）の電気街の近くに住んでいたため、子供の頃はラジオ部品の店や、神田市場、交通博物館が遊び場でした。

横浜で23年、現在は港南区の地下鉄港南中央（その前は南区）に住んでおり、半分「ハマッコ」になりました。

A2: 学生時代は「物理専攻」でしたが、ソフト屋になってしまいました。会社を離れて時間が出来たとき、自分自身「物作り」にチャレンジしたい、子供たちと「理科・物作り」のおもしろさを楽しみたいと思っていました。

広報紙で「養成講座」の募集を見て、地域に役立つし、自分に最適？と思って。

A3: 子供が「科学（理科）の面白さ」を体験出来る場・チャンスを多く作れればと思っています。

そのため自分が勉強・体験しなければなりません。何にでもチャレンジしようと思っています。

A4: 趣味といえるかどうか分かりませんが、長い間コンピュータ、パソコンで業務系のシステム開発をやっていたので、離れられません。

頼まれればソフトを組んだり、ホームページを作成したりしています。

私のHP（<http://hwopt.gate01.com/saitou>）で勝手なことを書いています。

A5: 先日、国立科学博物館で「フーコーの振り子」を久しぶりに見ました。小学生の時に見たものと全く同じですが、その頃はなんだか分かりませんでした。

分からなくても、実物を見て、聞いて、触って、作って・・・いるといつか役に立ちます。

- Q1 生まれた場所と、現在お住まいの場所、簡単な略歴。
 Q2 たんけん工房に参加するようになったいきさつと、動機。
 Q3 たんけん工房でやってみたいことはどんなことですか
 具体的なテーマでも、夢のイメージでも。
 Q4 趣味や道楽は？
 Q5 子どもたちに せひすすめたいことはなんですか？
 Q6 その他付け加えたいことがあれば、ご自由にひとこと。



佐々木 玲子 さん

(横浜東 Gp)

A1: 横浜市南区で生まれました。小さい頃は、家の前の鎌倉街道を市電が走っていました。今は、港南区日野に夫と小学生の子ども二人の四大家族です。

子育て、家事、仕事で、毎日が飛ぶように過ぎていきます

A2: 高校時代の選択科目は文系コース。理系は苦手だし、自分とは無縁と思いましたが、小学生の子どもと一緒に話したり、活動したりできたら楽しいだろうと思い参加を決めました。

A3: 科学塾に参加したときの、キラキラした目やワクワクする気持ちをたくさんの子どもたちに体験してほしいです。

生活の中にも、科学や理科ってたくさんあることがわかると、もっと身近に感じると思っています。そのお手伝いができたらと思います。

A4: 近くの小学校のコミュニティハウスで、ヨガを習って4年です。ゆっくりとした2時間が大切な時間です。学生時代に弾いていたマンドリンを昨年再び始めました。

練習は大変ですが、もっと上手になりたいです。

A5: 好きなことや得意なことをひとつづついいから見つけてみてね。そのことが支えになってくれる筈です。

A6: たんけん工房の皆様の知識と熟慮に感動をいただいています。これからもよろしくお願いします。



矢島 明 さん

(横浜西 Gp)

A1: 横浜市戸塚区（現在は栄区）に生まれ、育った「はまっ子」です。現在は港南区日野に住んでいます。

もともと理科はあまり好きではなかったのですが、大学で、地質学の楽しさ（化石を発見したときの喜びや、一つの化石から地層のできた年代や当時の環境を推論する楽しさ）と出会い、以来理科一筋で現在に至っています。

A2: 勤務していた学校に配布された「おもしろ科学」のチラシを見て、おもしろそうだなと思っていたところ、おもしろ科学探検工房の第二期研修員募集のチラシが手に入り応募しました。

A3: 現在勤務している小学校が今年から横浜東地区の会場校になっています。また、昨年後半からアシスタントとしてお手伝いさせていただいた講座での子どもたちの集中力や試行錯誤している様子、完成したときの目の輝きなどを見ると、より多くの子どもたちに理科の楽しさを伝えていきたいと思っています。

A4: 特にはありませんが、野外での自然観察、星空観察

A5: 近所の公園や家の回りなど身の回りの自然に目を向けてほしいです。一枚の葉でもいろいろな形があることや、つる植物でも他の植物への絡み方が違うなど、自然界の不思議さやおもしろさを味わってほしいです。

A6: 現在は現職のため、リハーサルが平日に行われる講座のお手伝いがなかなかできない状態ですが、時間の許す範囲でお手伝いさせていただきますのでよろしくお願いします。

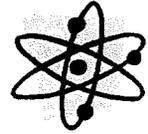
第6面～7面には、スタッフのプロフィールを紹介しております。(今号は7名を掲載しました。)



前田 実 さん
(横浜北 Gp)

- A1: 関東大震災のあった大正12年に鯉で有名になった「愛知三河一色」に生まれ、昭和19, 20年と陸軍で「隼」の整備をやり朝鮮の水原で終戦となりました、昭和25年に横浜の無線通信機の製造会社に入り、その保守のため6千トクラスのサケマス母船に乗りカムチャッカ、アリューシャンの方へ半年くらい行った事もあります、そこには23年勤め脱サラしてスクリーン印刷を始めました、それは33年やりましたが一昨年平成18年に閉鎖しました、
- A2: たまたま区役所で工房のパンフレットみて「これだ！わたしのやりたいのは」ととっさに思いました、電話したら「青少年センターでやるから見にいらっしやい」と言われ早速行ってみたら面白いのがいっぱいいて惚れ込んで早速入会しました、
- A3: 何でもやってみたいのですが、化学は苦手ですので、それ以外なら何でもやって見たいと思っていますがなんせもう頭脳の方がうまく働きますので、新しいものの発想とかは出来ませんので皆さんのお尻にくっついて参ります
- A4: 趣味は今は何もやっていませんが、今までにやった事はアマチュア無線、ハーレイ、溪流つり、軽飛行機の操縦、超軽量飛行機の操縦などです、
- A5: これは戦後教育のせいだと思いますが、自己の権利ばかり主張し己の社会に対する義務を果たしていない人が多い、「温おくり」と言うか自分が受けた恩恵を周りの人や、次の世代の人々にという気風を身につけてもらいたいと思います、
- A6: 私は事務的なことが苦手ですし、開発能力もありませんので、そういう会合はあまりでないと思いますが、何卒悪しからずご了承願います、

藤田 昭夫 さん
(横浜北 Gp)



- A1: 1936年香川県生まれ、香川、愛媛、兵庫、徳島、大阪、東京、神奈川と転勤につれ移住、小学生時代(当時は国民学校)には戦災、学童疎開も経験しました。現在横浜市鶴見区生麦に居住しています。
- A2: 孫の夏休み宿題の工作を手伝い、近所の地区センターで偶然募集チラシを見たのがきっかけです。
- A3: 理科工作は中学生時代以来全く無縁の世界でしたので、こちらから色々体験させていただき、子供たちと一緒に知識を増やせるのが楽しみです。
- A4: 昔、昆虫少年(今も標本を少々保有しています)、今デジカメ写真、これからは料理の手習いへ。他に、旧街道歩きをしています。登山は、新ハイキングクラブに所属、時折出かけています。
- A5: 自分で作ってみること、周囲のものを活用することを考えられるようになること。



渡辺裕子 さん
(横浜東 Gp)

- A1: 東京生まれの東京育ちです。結婚して千葉県習志野市、市川市に住み親の介護のために横浜にきて16年たちました。
- A2: 他のボランティアで戸塚区の体育館に行った時に募集の案内を見つけました。楽しそうなのとほかの活動にも応用できるのではないかと思います。
- A3: 物理的なことが多いので化学的なものも増やして広い意味でのおもしろ科学になるとよいと思います。
- A4: 習字(年数は長いのですが、上達せず、書道とはいえません)地域のケアプラザやアースプラザでボランティアをしています。
- A5: 理科好きの子供が増えてほしいので、工房のいろいろな体験塾に参加して楽しさと感動をたくさん味わってほしい



青木セツ子 さん
(横浜東Gp)

- A1, A2 こんにちは、東京(中野)生まれの青木セツ子です。キャンプ・世界遺産めぐりの旅・手品・写真・・・たのしいこと大好き、好奇心いっぱい。今年の夏は孫と尾瀬に行ってきました。
- 私が子どもの頃 たのしい理科教室にかよっていたことを思い出し今度は私の番かしらと思っておもしろ科学たんけん工房に入れていただきました。どうぞよろしく願いいたします。

料理科学教室やりませんか

物理学も化学も生物学も そこにあります。
奥の深い世界を 科学たんけんしよう。



“おもしろ科学体験塾” 2008年度上期(4月—9月の実績)

開催日	開催会場	テーマ/タイトル	参加	応募
4/12	鶴沼中学校	気体の力のおもしろ実験と工作	28	39
4/19	杉田小学校	ヘリコプターを作ってみよう	28	33
4/19	永野小学校	音ってなんだろう 音のヒミツを発見	13	14
4/19	柏陽高校	竹とんぼを作ってナイフの正しい使い方を学ぶ	16	21
4/19	旭区市民活動支援センター	ふしぎな紙のマジックワーク	13	15
4/26	湘南台高校	三角翼ヒコーキを作ってみよう	20	24
4/26	フォーラム (戸塚)	音ってなんだろう 音のヒミツを発見	21	23
4/26	こども科学館	スチレン・ヒコーキを作ってみよう	20	58
5/10	汐見台小学校	鏡が作る不思議な世界 万華鏡を作ってみよう	25	27
5/10	あざみ野	レモンや食塩水で電池を作ろう	27	49
5/10	鶴沼中学校午前/午後	にじ色の涙を作ってみよう	42	53
5/17	柏陽高校	信号機を作って電気の勉強をしよう	29	52
5/17	長津田小学校	鏡が作る不思議な世界 万華鏡を作ってみよう	22	25
5/24	湘南台高校	水をきれいにする実験	30	38
5/24	永野小学校	にじ色の涙を作ってみよう	48	49
5/24	こども科学館	作ろう! ふしぎなテクテクザウルス	20	51
5/31	フォーラム (戸塚)	にじ色の涙を作ってみよう	28	69
6/14	東戸塚小学校	にじ色の涙を作ってみよう	21	(23)
6/14	鶴沼中学校	鏡が作る不思議な世界 万華鏡を作ってみよう	27	37
6/14	柏陽高校	レモンや食塩水で電池を作ろう	20	28
6/21	杉田小学校	光と色のふしぎな世界—簡単分光器を作って光の実験	19	22
6/21	永野小学校	信号機を作って電気の勉強をしよう	41	42
6/21	こども科学館	マクスウェルのコマを作ってみよう	19	33
6/21	あざみ野	電気と磁石のふしぎを実験/モーターを作る	24	50
6/28	湘南台高校	ICラジオを作ってみよう	36	55
6/28	フォーラム (戸塚)	ふしぎな紙のマジックワーク	27	33
6/28	仲町台地区センター	不思議なヘロンの噴水 一噴水の水を踊らせてみよう	24	32
7/5	柏陽高校	紙コップでヘッドホンを作ろう	21	23
7/12	汐見台小学校	転がれ、進め、ジェットコースター	33	35
7/12	鶴沼中学校	ふしぎな噴水 -ヘロンの噴水を作ろう-	28	44
7/12	こども科学館	ずもうロボットを作ろう	22	71
7/19	永野小学校	紙コップでヘッドホンを作ろう	32	38
7/26	湘南台高校	風に向かって走る 風力車を作ろう	28	30
7/26	フォーラム (戸塚)	紙コップでヘッドホンを作ろう	22	27
7/26	都築地区センター	スチレン・ヒコーキ “ももんが号” を作ってみよう	18	24
8/2	希望が丘小学校	船を作ろう	29	35
8/9	日本大学六会キャンパス	セミの羽化を観察しよう	14	15
8/30	鉄小学校	シャボン玉のふしぎ、スライム作り	10	15
9/6	杉田小学校	水をきれいにする実験	24	30
9/13	鶴沼中学校	風に向かって走る風力車を作ろう	23	28
9/13	柏陽高校	ブザーを作ってモールス通信に挑戦	31	34
9/13	三保小学校	光と色のふしぎな世界—簡単分光器を作って光の実験	17	22
9/20	永野小学校	電池で動くマイ・ホバークラフトを作ろう	27	40
9/20	こども科学館	レモン電池や備長炭電池を作ろう	23	23
9/20	あざみ野	ICラジオを作ってみよう	30	47
9/27	湘南台高校	空気の重さと圧力のふしぎを実験	(24)	17
9/27	フォーラム (戸塚)	ICラジオを作ってみよう	(24)	43

おもしろ科学たんけん工房は、原則として8月を除き、毎月、各会場でおもしろ科学体験塾を開催しています。(隔月または不定期の会場もあります) そのほかに、各地の学校、地区センター、公民館などの要望に応じて、出前授業などを行っております。左の表は、おもしろ科学体験塾として実施したものをただけを



一覽にしたもので、このほかに特別教室、出前授業、および、地区企画への協力、イベントへの出展などの実績が十数件あります。なお、表中の「こども科学館」の通称は「はまぎんこども宇宙科学館」で、共催している科学塾の通称は「実験工作教室」となっております。

9月27日開催分の参加者数は(定員)を入れてあります。表中「あざみ野」とあるのは「男女共同参画センター横浜北」のことです。